

製品名: FGF-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10939**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 23kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | FGF9 |
| 別名 | FGF9; Fibroblast growth factor 9; FGF-9; Glia-activating factor; GAF; Heparin-binding growth factor 9; HBGF-9 |
| 遺伝子 ID | 2254.0 |
| SwissProt ID | P31371 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト FGF9 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190 |

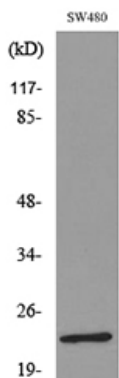
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーです。FGF ファミリーのメンバーは、広範な細胞分裂促進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍の増殖および浸潤など、様々な生物学的プロセスに関与しています。このタンパク質は、培養グリア細胞に対して増殖刺激効果を示す分泌因子として単離されました。神経系において、このタンパク質は主にニューロンによって産生され、グリア細胞の発達に重要である可能性があります。この遺伝子のマウスホモログの発現は、ソニックヘッジホッグ (Shh) シグナリングに依存することがわかりました。ホモログ遺伝子を欠損したマウスは、雄から雌への性転換表現型を示し、精巣胚発生における役割を示唆しています。 [RefSeq 提供、2008年7月]、疾患: GAFS の持続的過剰発現は、オートクリンループによって引き起こされる悪性細胞増殖につながる可能性がある。、機能: 発生過程におけるグリア細胞の増殖と分化、損傷後の脳組織の修復と再生におけるグリオーシス、神経細胞の分化と生存、グリア腫瘍の増殖刺激に関与する可能性がある。、PTM: N-グリコシル化。、PTM: 3つの分子種 (30 kDa、29 kDa、25 kDa) が発見され、それぞれロイシン4位、バリン13位、セリン34位で切断された。より小さな分子種はタンパク質分解産物である可能性がある。さらに、30 kDaの分子種には、分泌段階では切断されない機能的なシグナル配列が存在する可能性がある。、類似性: ヘパリン結合成長因子ファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: グリア細胞。、

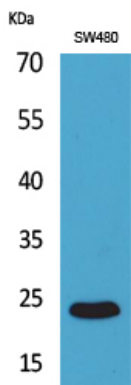
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アクチンと細胞骨格を制御;がんの経路;黒色腫;

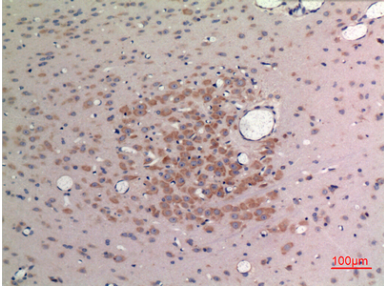
画像データ



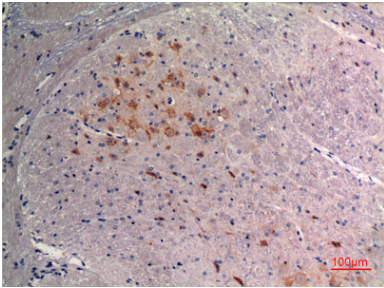
FGF9 抗体を使用した SW480 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



SW480 細胞の FGF-9 ポリクローナル抗体を用いたウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された